



ワルナスビ



ウマノスズクサ



ダイコンソウ



クチナシ

森林公園自然観察会
2016.07.03



by Kogera



ナガコガネグモの幼体



カラスビシャク



オオバノトンボソウ



ジャノメチョウ



ヒメウラナミジャノメ



ヒスイガサ (仮称)



ノウゼンカズラの棚と花壇



水生園のハンゲショウ (注1)



ツクバネウツギ



ネムノキ



コバノカモメヅル



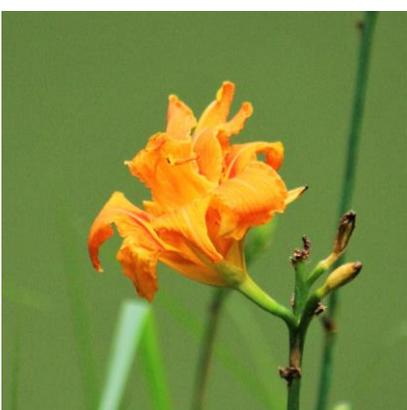
トベラの実



オカトラノオ



イシモチソウ



ヤブカンゾウ



シマヘビ



ネジバナ

注1 ハンゲショウの名前の由来は、夏至から数えて11日目を半夏生といい、その頃に花が咲くから。また、葉が半分白く化粧をしたようだからとも言われる。半夏生は現在では、天球上の黄経 100 度の点を太陽が通過する日となっていて、今年7月1日だそうだ。カラスビシャクもこの頃に咲くが、塊茎からとれる生薬を「半夏」というそうだ。